

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1	調査・検討すべき事項とその内容														
	(1) 地域における水害情報の調査														
	現在のハザードマップを把握するとともに、過去の水害履歴や地元自治体における地域防災計画を調査する。														
	(2) 地区別の水害リスクの評価														
	地域の人口分布、避難場所の分布、密集市街地などの分布を把握し、(1)の情報と重ねあわせ、地域における水害リスクを評価①する。														
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ① 文脈的には評価が良いのですが、問われていることは調査検討事項なので、「評価・検討」としてはいかがでしょうか。 </div>														
	(3) 各種計画の調査														
	自治体の総合計画、立地適正化計画や都市計画マスタープランを調査し、都市計画における土地利用状況を確認する。														
	(4) 河川の治水対策の整備進捗の調査														
	河川改修の整備進捗を調査し、ハザードの位置の変化を把握する。														
2	業務を進める手順（留意点、工夫点）														
	(1) 検討及び実施体制の構築														
	庁内関係部局や、国、都道府県の関係機関と連携し、計画策定や具体的施策の検討及び実施体制を構築する。														
	自助共助の取り組みが推進する②よう、地域のまちづくり組織等との協議の場を設けるなど工夫する。														

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

② 推進が主語なので、受身形ですね。→「される」

(2) 上位計画等関連する計画との整合

関連計画の自治体の総合計画や都市計画マスタープラン、地域防災計画などの上位計画との整合を図る③。

③ 細かい話ですが、総合計画や都市マスは上位計画なのですが、地域防災計画は上位と言えるか疑義があります。無難に「関連計画」としてはいかがでしょうか。また、「整合を図る」とはどのような行動なのでしょう。整合を図るのは、留意事項だと思います。ここは、「整理する」として、「方針や施策検討において関連計画との整合性に留意する」等の表現が望まれます。

(3) 対象とするリスクの検討④

自治体の地域防災計画や被害想定結果から、最新の災害リスク情報を収集する。被害規模、既往・関連計画における災害対策、地区特性等に留意し、災害及び対象地域を設定する。

④ 内容に合わせて、「災害及び対象地域の設定」としてはいかがでしょうか。

(4) 防災都市づくりの基本方針⑤

防災を意識した都市づくりを推進することや多様な主体と協働すること等により地域防災力の向上を図る
⑥等、防災都市づくりの基本的な方針を定める。

⑤ 計画策定の基本的な流れは、現況把握・分析→課題把握・分析→方針・目標→施策検討の順になります。よって、後述の課題整理の後に基本方針がきます。

⑥ 問いは手順と留意点・工夫点です。これらは、例示ではなく留意事項としてまとめましょう。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

(5) 災害リスクを考慮した都市の課題
 考慮する災害リスクを踏まえ、都市の安全性を評価し、都市レベルや地区レベルの課題を整理する。

(6) 防災都市づくりの具体的施策
 防災都市づくりのための具体的な市街地整備事業、災害リスク情報の提供等、地域防災力の向上を図る施策を位置づける。

3 関係者との調整方策

(1) 庁内ワーキンググループ
 危機管理部門、都市計画部門、まちづくり部門間で情報共有、連携・調整を図る⑦。

⑦ 問いは、調整方策です。どのように連携・調整を図るのかを書きましょう。

(2) ワークショップ
 計画策定段階から住民参加を図り、地域の防災意識の向上を図る⑧。

自治会単位で、小規模なワークショップを繰り返し実施し、事業実施の必要性等を共感して⑨、共助の取組への合意形成を図る。以上

⑧ 問いは、調整方策です。論点がズレています。
 ⑨ → 「共感してもらい」